



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月3日

上場会社名 株式会社 アルメディオ
 コード番号 7859 URL <https://www.almedio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・情報開示・IR担当
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

上場取引所 東

(氏名) 高橋 靖
 (氏名) 関 清美

TEL 042-511-0500

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,194	7.4	47		45		6	
2019年3月期第3四半期	2,370	9.5	19		5		362	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 61百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 401百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	0.54	
2019年3月期第3四半期	35.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,448	2,596	75.2
2019年3月期	3,817	2,209	57.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,592百万円 2019年3月期 2,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,670	14.1	15		12		52		4.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	14,802,316 株	2019年3月期	11,697,316 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	111,437 株	2019年3月期	118,437 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,262,981 株	2019年3月期3Q	10,225,188 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<https://www.almedio.co.jp/>)のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減も影響し一時的に落ち込みも見られるものの、企業収益や雇用環境は底堅く、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、米中の貿易摩擦に協議進展の期待や英国のEU離脱問題の解決に向けた進展はあるものの、米国とイランの対立による中東情勢の緊迫化、中国経済の成長鈍化、北朝鮮情勢など、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、2019年5月14日付「中期経営計画2019 (Fly for the bright future) の実施について」を公表し、引き続き「経営体制の強化」「新成長ドライバーの確立」に取り組みました。

なお、その他事業として、2019年4月17日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」で公表したとおり、ナノマテリアル事業を開始しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,194百万円（前年同四半期比7.4%減）となりました。利益面は、営業利益47百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）、経常利益45百万円（前年同四半期は経常損失5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失362百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、ナノマテリアル事業を開始しており、当該事業の経営成績は「その他事業」セグメントに含めております。

アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、企業活動によって得られた過去の蓄積データの長期保存と、保管コスト削減を目的とした需要に対し、長期保存用光ドライブ及び長期保存用光ディスクを起点としたソリューション提案を行いました。新規顧客の獲得等により前年同四半期の売上を僅かに上回りました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブ搭載率の低下スピードは鈍化傾向にありますが、需要は減少しており前年同四半期の売上を下回りました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は897百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。また、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内は、新規顧客は引き続き増加しているものの電気炉の受注や炉の定期修理の延期等により、前年同四半期の売上を下回りました。

阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司は、主力製品や異形成形品・電気炉等の受注が引き続き堅調に推移しました。

以上により、断熱材事業の売上高は1,232百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

インダストリアルソリューション事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テストイング」が含まれます。

テストメディアは、主要顧客であるカーオーディオ・カーナビ等の車載機器向けの販売が、テストメディア使用量の減少等の影響により、計画を下回りました。また、AV機器市場及びPC市場においても、光ディスク以外の媒体への移行が引き続き進んでいることから、需要は減少しました。

テストイングは、光ディスクの市場縮小により受託件数は減少しました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は62百万円（前年同四半期比39.7%減）となりました。

その他事業

当事業は、ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売を行う「ナノマテリアル事業」と、中国市場でカップ式飲料の販売を行う「カップ式自動販売機のオペレーション事業」が含まれます。

ナノマテリアル事業は、粉末状の炭素繊維を製品化しております。各顧客に対して、有償でのサンプル出荷や引き合いは引き続き増加したものの、顧客での評価や検証プロセスにおいて評価段階が継続しており、量産用の販売はありませんでした。

以上により、その他事業の売上高は1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、固定資産の譲渡に伴う建物及び構築物並びに土地の減少等により、前連結会計年度末と比べて368百万円減少し、3,448百万円となりました。負債は、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べて755百万円減少し、852百万円となりました。純資産は、新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べて386百万円増加し、2,596百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,261,769	1,517,132
受取手形及び売掛金	880,659	860,938
商品及び製品	335,005	227,495
仕掛品	72,666	52,933
原材料及び貯蔵品	111,513	182,207
その他	136,963	111,783
貸倒引当金	△365	△120
流動資産合計	2,798,214	2,952,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	363,704	91,503
土地	192,485	-
その他（純額）	307,763	267,955
有形固定資産合計	863,953	359,459
無形固定資産	18,258	16,769
投資その他の資産	137,116	120,326
固定資産合計	1,019,328	496,556
資産合計	3,817,542	3,448,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,702	181,543
短期借入金	855,000	288,372
1年内返済予定の長期借入金	76,008	56,008
未払法人税等	16,737	13,571
賞与引当金	36,667	27,913
その他	180,064	135,618
流動負債合計	1,405,180	703,028
固定負債		
長期借入金	70,316	33,310
退職給付に係る負債	64,726	41,801
その他	67,649	74,299
固定負債合計	202,692	149,411
負債合計	1,607,872	852,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,316,479	1,538,766
資本剰余金	1,269,859	1,492,146
利益剰余金	△300,776	△311,885
自己株式	△94,362	△88,785
株主資本合計	2,191,198	2,630,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343	-
為替換算調整勘定	16,082	△38,232
その他の包括利益累計額合計	16,425	△38,232
新株予約権	2,045	4,479
純資産合計	2,209,669	2,596,488
負債純資産合計	3,817,542	3,448,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,370,666	2,194,175
売上原価	1,602,066	1,495,698
売上総利益	768,599	698,476
販売費及び一般管理費	787,689	650,526
営業利益又は営業損失(△)	△19,089	47,949
営業外収益		
受取利息	1,841	2,062
受取配当金	459	360
為替差益	11,852	4,324
その他	8,609	2,400
営業外収益合計	22,763	9,148
営業外費用		
支払利息	6,252	2,916
新株予約権発行費	-	6,293
支払手数料	1,801	-
その他	1,559	2,478
営業外費用合計	9,613	11,688
経常利益又は経常損失(△)	△5,938	45,409
特別利益		
投資有価証券売却益	-	332
新株予約権戻入益	-	546
特別利益合計	-	878
特別損失		
固定資産除却損	300	4,122
退職特別加算金	25,590	8,188
事業譲渡損	142,558	-
事務所閉鎖損失	2,162	-
事務所移転費用	1,615	-
子会社清算損	-	3,499
減損損失	129,935	-
特別損失合計	302,160	15,811
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△308,099	30,477
法人税、住民税及び事業税	38,398	30,422
法人税等調整額	16,010	6,650
法人税等合計	54,408	37,072
四半期純損失(△)	△362,507	△6,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△362,507	△6,595

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△362,507	△6,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	△343
為替換算調整勘定	△39,226	△54,314
その他の包括利益合計	△39,362	△54,657
四半期包括利益	△401,870	△61,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△401,870	△61,253
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年9月4日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による第4回新株予約権を発行し、また2019年9月19日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による第7回新株予約権を発行しており、いずれも権利行使があったことに伴う新株を発行しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、第4回新株予約権で27,267千円、第7回新株予約権で195,020千円、資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,538,766千円、資本剰余金が1,492,146千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	アーカイブ 事業	断熱材事業	インダストリアル ソリューション事業	WEB ビジネス事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,054,322	1,048,966	104,485	162,826	65	2,370,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,054,322	1,048,966	104,485	162,826	65	2,370,666
セグメント利益 又は損失(△)	120,936	178,919	57,858	△67,045	△48,258	242,410

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,410
全社費用(注)	△261,499
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△19,089

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「WEBビジネス事業」セグメントにおいて、事業譲受の条件付取得対価の額が確定したことにより、新たにのれん42百万円が発生しております。一方、不動産投資環境の変化や業界の競争激化等が、想定以上に収益を圧迫していることから、改めて回収可能性を検討した結果、収益性の低下が認められたため、減損損失を特別損失に計上しております。当該減損損失を計上したことにより、のれんの金額が129百万円減少しております。

第2四半期連結会計期間において、WEBビジネス事業を譲渡したことに伴い、「WEBビジネス事業」セグメントののれんの金額が197百万円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

上記「3. 報告セグメントごとの資産に関する情報」に記載のとおりであります。

(固定資産に係る重要な減損損失)

第1四半期連結会計期間において、「WEBビジネス事業」セグメントにおいて、不動産投資環境の変化や業界の競争激化等が、想定以上に収益を圧迫していることから、改めて回収可能性を検討した結果、収益性の低下が認められたため、減損損失129百万円を特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	アーカイブ事業	断熱材事業	インダストリアルソリューション事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	897,622	1,232,230	62,988	1,332	2,194,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	897,622	1,232,230	62,988	1,332	2,194,175
セグメント利益又は損失(△)	119,573	176,288	22,816	△77,126	241,551

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	241,551
全社費用(注)	△193,602
四半期連結損益計算書の営業利益	47,949

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

WEBビジネス事業は、2018年9月30日付けで譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止しております。

ナノマテリアル事業は、第1四半期連結会計期間より事業を開始しており、「その他事業」セグメントに含めております。